

八景台にこにこ会

八景台文芸ひろば

第44号

八景台にこにこ会文芸部
発行責任者15班 宮木孝
集27班 錦田俊

國葬議論がくすぶついている中、旧統一教会問題がくすぶり始め早く消火しないと大火灾になりそうです。最近の円安、株安も気になるところですが、まずは皆様からの投稿のあった作品でもご覧になつて心のリフレッシュをしてみてはいかがでしょうか。

八景台にこにこ会 文芸部 発行責任者15班 宮木孝 集27班 錦田俊

私が身かな、なにわのことは夢の又夢の辞世の句を残し秀吉は慶長三年(一五九八)八月六日、「露と消えぬる我の身かな、なにわのことは夢の又夢」の辞世の句を残した。

【私説講談】

露ときえた豊臣政権物語 !!

十五班 安藤 弘

来年の大河ドラマは、吉沢良太原作「どうする家康」に決定したと報道された。日曜日、午後八時から始まるNHK、四十五分のドラマは、昭和三十八年(一九六三)船橋聖一原作「花の生涯」で始まった。

黒船来航で揺れる幕末、彦根藩、藩主井伊直弼が幕府の大老になり、万延元年(一八六〇)三月三日、桜田門で殺害される迄の生涯を描いた作品は、人気スター佐田啓一、八千草薫等の熱演もあって好評だった。

徳川家康は昭和五十三年(一九七八)山岡壯八原作「徳川家康」が放送され主演の滝田栄の堂々とした家康が人気を呼んだ。四十年ぶりの登場である。

徳川家康といえば「人の一生は重き荷を負うて遠き道を行くが如し、急ぐべからず、不自由を常と思えば不足な在、我慢の哲学を説く家康を取り上げたのは、タイムリーの企画だと感心した。

戦国時代の英雄といえば、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三人です。私の少年時代戦前は、豊臣秀吉が圧倒的に人気があった。身分の低い藤吉郎が、織田信長の草履取り人気があり、持ち前の才智と努力で大名になり遂には、日本国の人支配者となる。天皇の次の位、関白に就任、豊臣の姓を賜る立身出世物語にあこがれたものだった。学校の授業でも歴史、修身の時間で取り上げられ、学校唱歌では「その身は布衣に起れども、位は人の上に立ち六十州、おのが手に握りし人は誰なんぞ」歌つたものである。

天下人となつた秀吉の政権は死後一年であつけなく崩壊し、家臣の徳川家康が天下人に何故なれたのか考察した。

伏見城で六十一歳で死去した。秀吉は死の直前全ての大名から、息子秀頼への忠誠を誓う血判書を提出させた。死の床でも「秀頼のこと、たのみ申し候」と懇願したが、苦楽を共にした身内、家臣ではなく、正室おねと石田三成ら取り巻き家臣だけだった。秀吉は外様大名等には気前よく、石高を与えたが、身内、家臣には厳しく冷たかったので結果は弱かった。

正室おねの実家、木下家養子先の浅野家は秀吉の若い頃から仕え城代として、領内管理、行政、庶務等を担当してきたが石高は低かった。最古参の蜂須賀正勝、黒田官兵衛等にも例外ではなかった。ワンマンで独裁だった秀吉の実務を担当する奉行は側室淀君に近い官僚派石田三成、増田長盛らが就任、武功も無いのに石高は高く優遇されたので巾をきかし、政権の邪魔になると正室おね、子飼いの武将派加藤清正、福島正則等を遠ざけたので両者の対立は深つていった。

秀頼が生まれたのは、秀吉が五十七才の時だった。生後四ヶ月で後継者に指名したが溺愛し、武人として養育する視点が欠けていた。本来なら正室おねの子として養育し、武芸の師をつけ、大名の子供達を秀頼の取り巻きにすべきだった。秀吉の死後も、生母淀君は片時も離さず朝夕、歌舞伎、舞い、踊りと世間知らずに育てた。正室おねは、あきれ果て、大阪城西の丸を徳川家康に明け渡し、子飼いの武将派加藤清正、福島正則等の面倒を頼み、秀吉の菩提を弔うため京都の高台寺へ移つて行った。秀吉の死後、大者として政務を代行した家康は公正な政務を心がけたので、大名達の支持を集め勢力を拡大していった。正室おねは子飼いの武将派加藤清正等と組んで豊臣家の家名の存続をはかつたが、秀頼の生母淀君は石田三成等官僚派と組み家康を排除し政権の奪還を決意した。



慶長五年(一六〇〇)石田三成ら官僚派、大老毛利輝元、宇喜多秀家等々は家康の罪状十三ヶ条を天下に布告、家康打倒の軍をあげた、正室おねの子飼いの武将派の大名達は、淀君と秀頼、石田三成ら官僚派が支配する政権より、武家本来の政治を目指す徳川家康を選択し徳川軍に加わり戦いの主力となつた。東軍と西軍、天下を二分した九月一日の関ヶ原の決戦はわずか三時間で東軍が勝利し、天下の権は徳川家康の手に移つた。家康は戦功のあつた大名達に領地を与え、支配させた。

家康は、幕府を開き征夷大將軍になり数多くの法度、制度を作り、中央集権の幕藩政治を確立、今迄権力者から虫けらのように扱われていた農民や庶民を保護する条例、裁判制度を定め、奴隸社会から近世へ道を開く、武士支配の封建社会へ進んでいった。

終

『いのちと平等』

一一班 清田洋治

昨年末、八景台町会長を長く務められた二十三班の安藤正雄様が、八十五才の生涯を全うされ旅立つて逝かれました。御葬儀はセレモハ柱ホールで、コロナ禍にもかかわらず多数の町会員の方々も参列され、しんみりと行われました。私も、町会長の頃の元気な笑顔の遺影を仰ぎながら焼させて頂きました。

今、岸田首相は銃撃された安倍元首相の国葬を、9月27日に行うと決め準備しています。しかしながら、新聞各紙の世論調査では賛否が相半ばしています。国葬とは、國家が一人の個人の命の終りの儀式を一切とり仕切るものですが、この報道を見て、安藤正雄様の御葬儀のことが私は、この報道を見て、安藤正雄様の御葬儀のことが

頃から仕え城代として、領内管理、行政、庶務等を担当してきたが石高は低かった。最古参の蜂須賀正勝、黒田官兵衛等にも例外ではなかった。ワンマンで独裁だった秀吉の実務を担当する奉行は側室淀君に近い官僚派石田三成、増田長盛らが就任、武功も無いのに石高は高く優遇されたので巾をきかし、政権の邪魔になると正室おね、子飼いの武将派加藤清正、福島正則等を遠ざけたので両者の対立は深つていった。

秀頼が生まれたのは、秀吉が五十七才の時だった。生後四ヶ月で後継者に指名したが溺愛し、武人として養育する視点が欠けていた。本来なら正室おねの子として養育し、武芸の師をつけ、大名の子供達を秀頼の取り巻きにすべきだった。秀吉の死後も、生母淀君は片時も離さず朝夕、歌舞伎、舞い、踊りと世間知らずに育てた。正室おねは、あきれ果て、大阪城西の丸を徳川家康に明け渡し、子飼いの武将派加藤清正、福島正則等の面倒を頼み、秀吉の菩提を弔うため京都の高台寺へ移つて行った。秀吉の死後、大者として政務を代行した家康は公正な政務を心がけたので、大名達の支持を集め勢力を拡大していった。正室おねは子飼いの武将派加藤清正等と組んで豊臣家の家名の存続をはかつたが、秀頼の生母淀君は石田三成等官僚派と組み家康を排除し政権の奪還を決意した。

慶長五年(一六〇〇)石田三成ら官僚派、大老毛利輝元、宇喜多秀家等々は家康の罪状十三ヶ条を天下に布告、家康打倒の軍をあげた、正室おねの子飼いの武将派の大名達は、淀君と秀頼、石田三成ら官僚派が支配する政権より、武家本来の政治を目指す徳川家康を選択し徳川軍に加わり戦いの主力となつた。東軍と西軍、天下を二分した九月一日の関ヶ原の決戦はわずか三時間で東軍が勝利し、天下の権は徳川家康の手に移つた。家康は戦功のあつた大名達に領地を与え、支配させた。

家康は、幕府を開き征夷大將軍になり数多くの法度、制度を作り、中央集権の幕藩政治を確立、今迄権力者から虫けらのように扱われていた農民や庶民を保護する条例、裁判制度を定め、奴隸社会から近世へ道を開く、武士支配の封建社会へ進んでいった。



【俳句】 松戸新田 斎藤泰雄

『観月会』

松戸新田 斎藤泰雄

戦とは愚か者なり観月会
子和清水繩文からの月の友
観世音ともに仰ぎて良夜かな
赤き月女盛りの頬もしさ
月明かり浮き世のことは夢のうち
友と居て極上の夜月今宵

月の夜銀の世界へ花芒
山頭火月が出たよと貰い酒
異郷にて知る満月の息遣い
満月・九月十日晴れ
月の出・十八時十一分

二十六班 南條洋

仏壇に供えてうれし孫の手よ
山林でミンミーないてるセミの声
畑にてカラスが食べるミニトマト
太陽に向つて咲いてるひまわりよ
町会の湧水広場一等地
親の年越えてなお母思い出す
夏なのに樂しきことはなかりけり

五班 山口久子

仏壇に供えてうれし孫の手よ
山林でミンミーないてるセミの声
畑にてカラスが食べるミニトマト
太陽に向つて咲いてるひまわりよ
町会の湧水広場一等地
親の年越えてなお母思い出す
夏なのに樂しきことはなかりけり

私の健康法

①『命のスープ』を毎日飲んでいます

去年の5月に市の健康診断で、大腸にポリープが4つあることがわかり、内視鏡による摘出手術を受けたところ、そのうちの一つが癌化していました。幸いなことに大事には至りませんでしたが、ポリープを電気で焼き切ったので、切った後が潰瘍になり治るのに数週間かかりました。食べ物も軟らかいものだけ、アルコールなどはもつてのほか、重いものを持つたり、運動・スポーツのような腹圧のかかることは一切しないよう指示されました。

これまで病気知らずで元気にとびまわってきた私が、青菜に塩のようによぼくれているのを心配し

た友人が、「がんに打ち勝つ

『命の野菜スープ』高橋弘著

『命の野菜スープ』
がんに打ち勝つ
高橋弘著

レゼントしてくれたのです。

キヤベツ・にんじん・タマネギ・カボチャ…この四つの野菜各100グラムを水1リットル、200グラムだったら水2リットルで煮込んだスープを毎日飲むだけでがんを予防し、血管も若返らせ、健康な体を維持することができるといふのです。本をもらった翌日から早速実行して一年半になりますが、この「命のスープ」のお陰で、今のところ口ナにもかからずすこぶる快調で、健康な生活が維持できています。

LSDは「L→ロング・S→スロー→D→デイスタンス」を略したもので、「時間をかけて、ゆっくり、長い距離を走る」というランニングです。週に三回くらいのペースで、5~6キロを2時間以上かけて走ります。自分では走っているつもりでも、時々歩いている人に抜かれますが、そんなことは全く気にしません。でもこの間は、後ろから妙な音がするなく振り返つたらベビーカーが私を追いついていました。この時はさすがにがっく

LSDは、マイペースの走りです。走っていると、風のそよぎ、土や木の香りなどが全身で感じられ、自分がこの自然の中で生かされている喜びがあふれます。腰につけたサイドバックには忘れずにカメラや財布を入れておいて、はつときせられるものに出会ったら写真を撮ったり、ステッパーに立ち寄って食材を買って帰ることもあります。

寝る前には、その日の朝と夜の体重・血圧などを数値やグラフで記録し、その日の走行距離などをメモするようにしています。数値やグラフなどで、自分の体調や活動状況を見える化することによって、自覚的な健康管理が可能になるのだと自分を励ましています。

②超ゆづくりランニング(LSD)をつづけています

LSDは「L→ロング・S→スロー→D→デイスタンス」を略したもので、「時間をかけて、ゆっくり、長い距離を走る」というランニングです。週に三回くらいのペースで、5~6キロを2時間以上かけて走ります。自分では走っているつもりでも、時々歩いている人に抜かれますが、そんなことは全く気にしません。でもこの間は、後ろから妙な音がするなく振り返つたらベビーカーが私を追いついていました。

八景台にこにこ会「文芸ひろば」休刊のお知らせ

平成二十三年創刊以来、今まで皆様にご愛読いただいております地域新聞「文芸ひろば」は、次号の令和五年一月第45号の発行をもってしばらくの間、休刊とさせていただくこととなりました。

八景台町会の多くの皆様に「八景台にこにこ会」賛助会員としてご支援ご協力を頂きました、又、町内外の多くの方々から「文芸ひろば」に掲載原稿を寄せて頂き紙面を飾ることが出来ました。

最近では、インターネットを活用したこともあり、改めて本紙の役割の見直しを行ない、休刊とさせていただく結論に至りました。誠に勝手ではございませんが、読者の皆様におかれましては、ご理解賜りますようお願い申し上げます。今後は媒体等の可能性を見直し、新しい「文芸ひろば」の発行が出来るよう皆様のご意見を賜りたいと思います。

尚次回、第45号は拡大版としてページ数を増やし発行出来ればと考えておりますので、今まで寄稿頂いた皆様、読者の皆様からの投稿をお願いいたします。と思いますので宜しくお願ひ致します。

八景台にこにこ会 文芸部 スタッフ一同

【散文】 『向希の夏休み』

13班 阿久津喜代美

向希、暑い夏休みだつたけれど、パパ、ママにいろんな所に連れて行ってもらって楽しかったでしょう。コロナにも負けず頑張ったね。夏休みに入前の夕涼み会には可愛い甚平を着て、パパと、ママとで楽しんできたかと思ったら園庭に入ると同時にべそをかき出して終るまでママにくつづきはなしだったんだってね少しは踊ったのかな?

夏休みに入ってからは三人で、東京ディズニーリゾート・トイ・ストーリーホテルに一泊で行ってきて、大好きなトイ・ストーリー・キャラクターと一緒に写真を撮ったり、ホテルに泊まった時の事をとても詳しく楽しそうに話してくれました。11階に泊ったので眺めもよくて、向希、ものすごく興奮していたみたいだよ。今度バーアちゃんも連れて行ってね。

8月20,21日は一泊で栃木県の那須動物王国に行ってきたみたいです、白いオオカミがいたとか、大きなライオンがいたとか、上手に話してくれました。それからもう一つ、向希は生まれて初めて大きな露天風呂に入ってきたとか、得意そうに話してくれました。

話し方も、聞き方も、今までよりずっと上手になっているので楽しみが倍になってきます。ただ一つ、人見知りはしないけど場所見知りをするのでどこに入るときでも必ず「入らない」とか「いかない」とか言います、一種の反抗期かな?とも思います。

夏休みも終って9月1日から幼稚園が始まったね、今度は運動会の練習が始まっています。元気な向希君泣き泣きしてもいいから幼稚園頑張ってね、行けば楽しいもんね。バーアちゃん楽しんでいるよ。